

## 令和3年度前橋市保健所運営協議会結果概要

### I 日 時

令和3年7月16日（金） 午後1時30分～午後3時

### II 場 所

前橋市保健センター 4階 集団指導室

### III 参加者

【出席委員：11人】◎=会長 ○=副会長

- ◎須田 浩 充 （前橋市医師会）
- 石原 秀一郎 （前橋市歯科医師会）
- 佐藤 岳 彦 （前橋市薬剤師会）
- 舩津 智 正 （前橋地区獣医師会）
- 宮崎 瑞 穂 （群馬県病院協会）
- 久保田 晋 （前橋食品衛生協会）
- 中村 広 文 （群馬県生活衛生同業組合連合会）
- 高橋 亨 （前橋市小中学校校長会）
- 池田 美 雪 （公募）
- 櫻井 洋 一 （公募）
- 浜崎 景 （群馬大学医学部）

#### 【前橋市】

膽熊健康部長、大西保健所長、山口保健総務課長、吉野健康増進課長、  
藤田保健予防課長、松本衛生検査課長、他各係長等

### IV 会議内容

- 1 あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 会長、副会長の選任について
- 4 議事
  - (1) 前橋市保健所の概要について
  - (2) 令和2年度事業実施状況について
  - (3) 令和3年度予算及び事業概要について
  - (4) 保健所事業【重点・新規・拡充】の取組状況について
    - ①新型コロナワクチン接種の進捗状況等について
    - ②各種がん検診の受診状況について
    - ③成人歯科保健事業について
    - ④地域自殺対策強化事業について
  - (5) その他保健所事業の取組状況について
    - ①新型コロナウイルス対応について
    - ②今期のインフルエンザ発生動向について
    - ③猫の去勢・不妊手術費補助金交付事業について

④動物愛護・管理推進事業の実施状況について

⑤スズメバチの巣駆除事業について

⑥食中毒の発生状況について

(6) その他

4 お礼

5 閉会

## V 配布資料

【資料1】前橋市保健所の概要について

【資料2】令和2年度事業実施状況について

【資料3】令和3年度予算及び事業概要について

【資料4】新型コロナワクチン接種の進捗状況等について

【資料5】各種がん検診の受診状況について

【資料6】成人歯科保健事業について

【資料7】地域自殺対策強化事業について

【資料8】新型コロナウイルス対応について

【資料9】今期のインフルエンザ発生動向について

【資料10】猫の去勢・不妊手術費補助金交付事業について

【資料11】動物愛護・管理推進事業の実施状況について

【資料12】スズメバチの巣駆除事業について

【資料13】食中毒の発生状況について

## VI 結果概要

進行：山口課長

1 あいさつ

(大西保健所長)

委員の皆様にご意見を賜り、保健所事業がより良い方向に向かっていくことを願っている。

2 委員紹介

出席の各委員から自己紹介が行われた。

3 会長、副会長の選任

互選により、会長：須田委員（前橋市医師会）、副会長：石原委員（前橋市歯科医師会）が選任された。

4 議事概要

はじめに、「議事（1）前橋市保健所の概要について」から「（3）令和3年度予算及び事業概要について」までを、一括して事務局より説明を行った。

次に、「(4) 保健所事業【重点・新規・拡充】の取組状況について」、「(5) その他保健所業務の取組状況について」の事務局からの説明に対して、項目ごとに質疑応答を行った。

《主な質疑要旨》

(4) 保健所事業【重点・新規・拡充】の取組状況について

①新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況等について

(宮崎委員)

ワクチン接種は順調に進んでいると感じている。前橋市において、所在不明の残余ワクチンはあるか。

(保健総務課 高橋係長)

前橋市のワクチン在庫状況について、ワクチンの在庫は保健所で一元管理しているため、所在不明のワクチンはないと考えている。

(浜崎委員)

高齢者(65歳以上)の接種状況について、全国と比較してどうか。

(保健総務課 高橋係長)

全国と比較して遅れていないと考える。65歳以上の接種希望者について、7月末までの接種完了に向けて順調に進んでいる。

(須田会長)

全国ではかなり上位と捉えている。

②各種がん検診の受診状況について

(櫻井委員)

検診の受診率が減少している中での自己負担は、さらに受診率が減少するのではないかと危惧している。胃がん・子宮頸がん・乳がん検診の実施間隔を2年に1回に変更することは問題ないのか。毎年実施する必要はないのか。

(健康増進課 原田係長)

国の指針に準拠し2年に1回の実施とした。検査結果については、毎年実施の場合と比較して差異はないと国の指針に明確に示されているので、問題ないと考える。

(櫻井委員)

受診料について、500円というのは国の指針か。

(健康増進課 原田係長)

市の財政状況から設定した。財政負担の軽減を図るため自己負担とした。

(浜崎委員)

受診率1位は素晴らしい。受診率向上に向けた取組として、受診シールの郵送、広報まえばし、ホームページなどの周知で効果があったものはどれか。

(健康増進課 原田係長)

受診シールが一番効果があったと考える。自宅に届くのでわかりやすい。また、病院に掲示されているポスターも効果があったと考える。

(浜崎委員)

受診料が 500 円の検診について、1 検診あたりの検査料は平均いくらか。

(健康増進課 原田係長)

平均は出していない。検査料が一番高い検診で、16,000 円～20,000 円である。

(須田会長)

胃がんの内視鏡検査が一番高く、検査料は約 17,000 円である。

### ③成人歯科保健事業について

(石原副会長)

成人歯科検診の受診率は低いので、勧奨したいと考えている。20歳から70歳まで5歳ごとに実施し、乳幼児から高齢者まで検診として流れができています。このことは、群馬県内では先進的である。成人の7割以上に歯周疾患があるとされているので、検診の受診勧奨をして治療につなげたいと考える。500円の自己負担により受診率が減少するのではないかと危惧している。特に45歳以降の男性の受診率が低く、治療も少ないため、引き続き勧奨に力を入れたい

### ④地域自殺対策強化事業について

(高橋委員)

自殺者数の概要について、20歳未満の若年層の自殺者数はどのくらいか。

(保健予防課 女屋副参事)

令和2年中の20歳未満は2人で、年齢の内訳は不明である。また、20歳～29歳は11人であった。令和元年中の20歳未満は3人で、20歳～29歳は6人であり、20代の自殺者数が増加した。

(高橋委員)

コロナの影響で自殺者が増えているが、教育委員会でも自殺予防のリーフレットを作成し、各学校で対応している。日本の子どもたちは自己肯定感が低いと言われていたが、児童には一人ひとりが大事だと声掛けをしている。義務教育から一般教育まで学校教育が繋がると良いと考える。

(櫻井委員)

自殺死亡率と総数の考え方について、また未遂者数はどのくらいか。

(女屋副参事)

自殺死亡率とは、人口10万人当たりの自殺者数をいう。未遂者数について、救急搬送されても処置後帰宅する場合があります、数は把握できない。一般的には、自殺者数の10倍と言われている。

### (5) その他保健所事業の取組状況について

#### ①新型コロナウイルス対応について

(高橋委員)

長引くコロナ禍で小、中学生が一番我慢していると考えます。昨年度、行事は中止が

相次いだが、今年度は新たな生活様式のもと感染予防を徹底するとともに、行事の見直しを行っている。1学期に予定していた行事は、まん延防止等重点措置に伴い中止したが、桃木小学校では、7月初旬に林間学校は日帰りで実施することができた。修学旅行は秋に1泊で実施予定である。また、運動会は分散して実施予定である。新型コロナウイルスにより考え方を変えなければならないとつくづく思い、改めて行事を工夫し見直しながら、児童の安全を守っている状況である。

## ②今期のインフルエンザ発生動向について

(佐藤委員)

今期のインフルエンザについて、新型コロナウイルスの感染予防を徹底したことにより流行入りはなかったという捉えだが、今後予防を徹底すればインフルエンザ発生を抑えられるのか。インフルエンザウイルスと新型コロナウイルスの因果関係はあるのか。

(須田会長)

正確なデータはないが、ウイルスの勢力争いがあり、2つのウイルスが同時流行することは起こりにくい。コロナウイルスが収まれば、インフルエンザが流行すると考える。

(浜崎委員)

インフルエンザワクチンの接種率も減少していると考えますが、新型コロナウイルスが収まれば、インフルエンザワクチンの接種率が急激に増える傾向があるのか。

(須田会長)

インフルエンザワクチンの接種率は減っていない。例年以上の接種があった。

## ③猫の去勢・不妊手術費補助金交付事業について

(船津委員)

前橋市内の小動物病院の去勢・不妊手術は約3割強行われ、費用対効果があると考えられる。依然として、外飼いの猫、野良猫が増えているため、捕獲が難しい猫について対策が必要。今後も続けていただきたい。

## ④動物愛護・管理推進事業の実施状況について

(船津委員)

外飼いの猫、野良猫が増えている。獣医師会では、負傷動物について懸念している。負傷動物事業として、治療費は5,000円の範囲内で補助があるが、治療後の引取り手がないことが課題。前橋市は近隣の中核市と比較して、動物愛護センター等の保護施設がなく遅れている。里親やボランティア団体が見つからず、多頭飼いをしているケースがあり保護施設が必要と考えるため、要望や要請をしたい。

⑤スズメバチの巣駆除事業について

(中村委員)

今後も事業を継続していただきたい。

⑥食中毒の発生状況について

(船津委員)

令和3年4月18日に発生した食中毒について、原因食品のバイケイソウは何と間違えたのか。

(齋藤係長)

オオバギボウシと間違えた。群馬県自然史博物館によると、バイケイソウとオオバギボウシはよく間違えられる。

(船津委員)

ノロウイルスには次亜塩素酸ナトリウムは効くが、コロナウイルスにも効くのか。

(齋藤係長)

次亜塩素酸ナトリウムはノロウイルス、コロナウイルスともに効く。

(久保田委員)

市内食中毒の発生件数について、令和3年の患者数は令和2年と比較して増えているが、遡ると件数は減っている。前橋食品衛生協会が実施している食品衛生責任者講習会で、手洗いの徹底、年に一度の検便の実施を指導している。食中毒ゼロが望ましいとともに、飲食を提供する側は、責任を持って提供しなければならない。今後も講習会等で要請していきたい。

(6) その他

(中村委員)

令和3年度当初予算について、生活衛生事業の予算額が減少した理由を教示いただきたい。

(関口補佐)

予算が減少した理由は、人件費である。産後、育児休暇を取得した職員が復帰し、嘱託員の雇用を止めたため人件費が減少した。

(中村委員)

公衆浴場経営安定化事業について、予算額が減少しているが足りているか。

(鎌塚補佐)

各事業概要に記載があるが、物価統制令によって統制された銭湯を対象に補助を行っている。上・下水道料金の2分の1、固定資産税相当額の3分の1を補助し、固定資産税の3分の2は減免されている。補助金だけでは、赤字全額を満たしていないが、経営安定化へ多少は補助できていると考える。

5 お礼

(膽熊部長)

いただいた意見を参考に保健所事業の更なる充実を図っていく。今後も保健所運営に対して意見をいただきたい。

6 閉会 (午後 3 時)